

京都大学埋蔵文化財調査報告 Ⅲ

—— 北白川追分町縄文遺跡の調査 ——

京都大学埋蔵文化財研究センター



巻首図版 北白川追分町遺跡の埋没林（トチノキ，西から）

序

京都大学敷地内の埋蔵文化財にかんする調査と研究および保存と活用を主たる目的として、埋蔵文化財研究センターが設立されたのは、昭和52年7月のことであった。爾来、当センターは、本学関係敷地内の周知の遺跡はもとよりのこと、その他の構内敷地についても、つぎつぎと発掘調査の成果を積み重ねてきた。現実には実施されている発掘調査のほとんどは、建物の新営にともなうものではあったが、そのような制約にもかかわらず、遺跡・遺物の調査と研究は年を追って前進し、その保存と活用をめぐる方途も次第に具体化してきている。そして、そのみよりは『京都大学構内遺跡調査研究年報』や『京都大学埋蔵文化財調査報告』などに集約・反映されてきた。

このたびの『京都大学埋蔵文化財調査報告Ⅲ』は、理学部物理学教室の新営にともなって実施した、昭和52年度の試掘調査と昭和53年度の発掘調査の成果をまとめた北白川追分町縄文遺跡を主とする報告書であり、第1冊（京大農学部遺跡B G36区）、第2冊（白河北殿北辺の調査）につづくものである。北白川追分町遺跡は、大正12年に本学考古学講座の創始者である濱田耕作氏によって発見されたが、今回の発掘調査の研究成果は、その遺跡の重要性と自然環境復原の意義などを改めて問うものとなっている。

本報告書は京都大学構内遺跡調査会（当時の調査会長亀井節夫理学部教授）を中心に、地質・植物・動物・物理など各分野からの御協力によって完成した。考古学上の研究成果と自然科学的分析による縄文時代の環境復原とに視点をおいた『京都大学埋蔵文化財調査報告Ⅲ』は、今後の調査と研究に大きく寄与するものとなろう。内容が多岐にわたったため出版が遅れ、一昨年急逝された日浦勇氏をはじめとして、早くから原稿を寄せられた執筆者各位に御迷惑をかけたことをおわびする。

昭和60年3月

京都大学埋蔵文化財研究センター長

上 田 正 昭

例 言

- 1 本報告書は京都大学埋蔵文化財研究センター・京都大学構内遺跡調査会が昭和52年度と昭和53年度に実施した京都市左京区北白川^{おいわけ}追分町京都大学理学部物理学科校舎新営予定地(京都大学北部構内B G 31区)発掘調査の報告書であり、京都大学埋蔵文化財調査報告Ⅲにあたる。
- 2 国土座標にしたがって一辺50mの方形の地区割をし、これをさらに一辺5mの小地区に区画して発掘を実施した。
- 3 層位と遺構の位置については、国土座標第6座標系($x = -108,000$ $y = -20,000$)が($X = 2,000$ $Y = 2,000$)となる京都大学構内座標によって表示した。
- 4 遺物番号は土器・石器と各種自然遺物に分けて通し番号を1から付した。図版8～18・22～33・42～49の番号は本文中の番号と対応する。
- 5 注は各章ごとにまとめて章末に記載した。
- 6 遺構・遺物の実測と製図は、宇野隆夫、森本晋、玉田芳英、古賀秀策がおこなった。遺物の撮影は、泉拓良が担当した。自然遺物の図と写真は、各執筆者が作成した。
- 7 本文は、亀井節夫、宇野隆夫、泉拓良、中堀謙二、粉川昭平、嶋倉巳三郎、家根祥多、森本晋、玉田芳英、竹村恵二、飯田義正、石田志朗、南木陸彦、山尾正之、伊東隆夫、林昭三、島地謙、日浦勇、宮武頼夫、桂郁雄、山田治が分担執筆した。執筆者名は各章の初めに記し、必要な場合は文末に記した。
- 8 編集は、亀井節夫の指導のもとに、泉拓良、宇野隆夫が京都大学埋蔵文化財研究センター研究部の清水芳裕、五十川伸矢、浜崎一志、宮本一夫と協力しておこなった。

目 次

序章 調査の概要と遺跡の立地

1 調査の概略	1
(1) 発掘調査に至る経過と組織	(3) 報告書の作成
(2) 発掘調査	
2 遺跡の立地と周辺の縄文遺跡	6
(1) 比叡山西南麓の遺跡群	(2) 遺跡群の消長

第 I 部 調査報告篇

第 1 章 試掘調査の成果	11
1 試掘調査と植物遺体採取の概略	11
(1) 層位と地形	(3) 遺 物
(2) 植物遺体の堆積	(4) 試料の採取と分析
2 花粉分析	14
(1) 試 料	(3) 考 察
(2) 分析結果	(4) ま と め
3 種実類の同定	20
(1) 黒褐色泥炭質層 I 採取の試料	(3) 同定結果のまとめ
(2) 黒褐色泥炭質層 II 採取の試料	
4 木質物の樹種	25
(1) 調査の結果	(2) 材の性質について
5 小 結	29
(1) 種子類と木質物と花粉との分析結果の比較検討	
(2) 黒褐色泥炭質層 I と黒褐色泥炭質層 II の比較	

第2章 遺 跡	31
1 調査の方法	31
(1) 層位観察・地形復原用畔の設定	(2) 動・植物遺体の採取地点と採取方法
2 層 位	33
3 地 形	36
4 遺 構	38

第3章 遺 物	39
1 土 器	39
2 石 器	72

第Ⅱ部 自然科学的調査篇

第1章 北白川追分町遺跡の堆積物	79
1 はじめに	79
2 掘削断面における堆積物の観察	79
3 褐色礫層	83
4 砂 層	86

第2章 北白川追分町遺跡の花粉分析	95
1 試料の採取	95
2 花粉分析の方法	96
3 花粉分析の結果	96
4 小 結	107
(1) 泥炭質土の堆積時期の推定	
(2) P ₂ 地点とP ₃ 地点の花粉ダイヤグラムの相違について	

第3章 北白川追分町遺跡出土の種実類	113
1 はじめに	113
2 堆積物の年代と採取調査の手順	113
3 出土種実の一覧表	118
4 出土種実類の形態	119

5	栽培植物	128
6	史前帰化植物または移入植物	128
7	人間が利用可能な植物	128
8	古群落の復原	129
	(1) 古群落の復原についての基礎的問題	
	(2) 種実の分散様式の違いによる平面分布の違い	
9	大型植物遺体群集の変遷	135
10	摘 要	137
第4章	北白川追分町遺跡出土の木材の樹種	139
1	はじめに	139
2	分析方法	139
3	同定結果	139
4	考 察	143
第5章	北白川追分町遺跡出土の昆虫遺体	145
1	はじめに	145
2	同定結果	145
3	考 察	150
4	ペリットまたは糞塊に由来すると考えられる密集遺体について	151
第6章	北白川追分町遺跡出土石鏃の材質同定	155
1	はじめに	155
2	岩石の磁氣的性質	155
3	磁化強度の測定	155
4	結 果	157
第7章	北白川追分町遺跡出土木材の ¹⁴ C年代測定	159
1	はじめに	159
2	測定結果	159
3	結果の読み方	159
4	測定の原理	161

第Ⅲ部 考 察 篇

第1章 北白川追分町遺跡出土の縄文土器	163
1 中期末縄文土器の分析	163
(1) 器種の組み合わせ	
(2) 北白川遺跡群出土の中期末縄文土器	
(3) 中期末の土器編年	
2 晩期末縄文土器の分析	182
(1) 近畿地方の凸帯文土器	(2) 出土凸帯文土器の編年位置
第2章 北白川追分町遺跡の堆積環境の変遷	189
1 白川扇状地の形成	189
2 発掘調査地点の堆積環境の変遷と白川扇状地	190
第3章 北白川追分町遺跡の古植生の復原	193
1 P ₀ 地点の試料	193
2 古植生の推定	194
3 扇状地植生の特徴	196
4 トチノキ花粉の出現率とトチノキの分布地について	197
5 ま と め	199
終章 北白川追分町縄文遺跡調査の成果と意義	
1 はじめに	201
2 自然環境の変遷	202
(1) 北白川扇状地の形成	(3) 植物相の復原
(2) 植生復原における方法論上の問題	(4) 動物相の復原
3 縄文人による環境選択	207
(1) 集落立地と植生	(2) 混交林と縄文人
English Summary	211

図 版 目 次

巻首図版 北白川追分町遺跡の埋没林（トチノキ，西から）

- 1 遺 跡
 - 1 第5層（赤褐色土）上面検出の室町時代遺構（西から）
 - 2 第15層（泥炭質層1上）上面での調査区全景（西から）
- 2 遺 跡
 - 1 第15層上面での足跡列検出（東から）
 - 2 足跡列（南から）
 - 3 足 跡（東から）
- 3 遺 跡
 - 1 第21層（泥炭質層2上）上面の遺構（西から）
 - 2 b3区第21層上面検出の小河川（北東から）
 - 3 d4区第21層上面検出の足跡群（北から）
- 4 遺 跡
 - 1 第21層で検出した埋没林（西から）
 - 2 c3区第21層出土のトチノキW4（南から）
 - 3 c4区第21層出土のトチノキW3・W28（北西から）
- 5 遺 跡
 - 1 第28層（泥炭質層4）発掘後の調査区全景（西から）
 - 2 d5区第21・23層出土の樹木（南から）
 - 3 d3区第26層出土のトチノキW29・W72（東から）
- 6 層 位
 - 1 調査区南壁の層位（北から）
 - 2 中央畔北壁中央の層位（北東から）
- 7 層 位
 - 1 中央畔北壁南東端の不整合面（北西から）
 - 2 中央畔北壁にみる砂の堆積状態（北西から）
 - 3 中央畔北壁中央の褐色礫層（北東から）
 - 4 調査区北壁中央の層位（南から）

- 8 縄文土器
前期末～中期後葉の深鉢
- 9 縄文土器
中期末～後期初頭の深鉢
- 10 縄文土器
中期末～後期初頭の深鉢
- 11 縄文土器
中期末～後期初頭の深鉢
- 12 縄文土器
1 中期末～後期初頭の深鉢
2 中期末～後期初頭の深鉢
- 13 縄文土器
中期末～後期初頭の浅鉢
- 14 縄文土器
中期末～後期初頭の浅鉢
- 15 縄文土器
1 中期末～後期初頭の深鉢
2 中期末～後期初頭の器種不明土器
3 晩期末の浅鉢
- 16 縄文土器
1 晩期末の深鉢
2 晩期末の深鉢と浅鉢
- 17 石器
1 打製石器
2 打製石器・磨製石器
- 18 石器・石製品・土製品
1 石器
2 石製器・土製品
- 19 花粉
- 20 花粉
- 21 花粉
- 22 試掘調査出土の種実類
- 23 試掘調査出土の種実類

- 24 種 実 類
- 25 種 実 類
- 26 種 実 類
- 27 種 実 類
- 28 種 実 類
- 29 種 実 類
- 30 種 実 類
- 31 種 実 類
- 32 種 実 類
- 33 種 実 類
- 34 試掘調査出土の木質物
- 35 試掘調査出土の木質物
- 36 試掘調査出土の木質物
- 37 試掘調査出土の木質物
- 38 試掘調査出土の木質物
- 39 試掘調査出土の木質物
- 40 試掘調査出土の木質物
- 41 試掘調査出土の木質物
- 42 木 材
- 43 木 材
- 44 木 材
- 45 木 材
- 46 木 材
- 47 木 材
- 48 木 材
- 49 木 材
- 50 昆 虫
- 51 昆 虫

挿 図 目 次

<p>序 章</p> <p>図1 京都盆地の地勢と調査地点…… 3</p> <p>図2 調査区と付近の おもな調査地点…… 4</p> <p>図3 比叡山西南麓の地質…… 6</p> <p>図4 比叡山西南麓の地形と 縄文遺跡…… 7</p> <p>試掘調査の成果</p> <p>図5 試掘調査の層位…… 11</p> <p>図6 試掘調査出土の縄文土器…… 13</p> <p>図7 試掘調査採取試料の 花粉分析結果…… 17</p> <p>遺 跡</p> <p>図8 地区割および動・植物遺体と 花粉試料の採取地点…… 32</p> <p>図9 中央畔の層位…… 32・33</p> <p>図10 南壁の層位…… 34・35</p> <p>図11 北壁の層位…… 34・35</p> <p>図12 地形の変遷(1)…… 36</p> <p>図13 地形の変遷(2)…… 37</p> <p>遺 物</p> <p>図14 縄文前・中期の土器…… 41</p> <p>図15 縄文中・後期の土器(1)…… 42</p> <p>図16 縄文中・後期の土器(2)…… 43</p> <p>図17 縄文中・後期の土器(3)…… 44</p> <p>図18 縄文中・後期の土器(4)…… 45</p> <p>図19 縄文中・後期の土器(5)…… 47</p>	<p>図20 縄文中・後期の土器(6)…… 48</p> <p>図21 縄文中・後期の土器(7)…… 49</p> <p>図22 縄文中・後期の土器(8)…… 50</p> <p>図23 縄文中・後期の土器(9)…… 51</p> <p>図24 縄文中・後期の土器(10)…… 52</p> <p>図25 縄文中・後期の土器(11)…… 53</p> <p>図26 縄文中・後期の土器(12)…… 54</p> <p>図27 縄文中・後期の土器(13)…… 55</p> <p>図28 縄文中・後期の土器(14)…… 56</p> <p>図29 縄文中・後期の土器(15)…… 57</p> <p>図30 縄文中・後期の土器(16)…… 58</p> <p>図31 縄文中・後期の土器(17)…… 59</p> <p>図32 縄文中・後期の土器(18)…… 60</p> <p>図33 縄文中・後期の土器(19)…… 61</p> <p>図34 縄文中・後期の土器(20)…… 62</p> <p>図35 凸帯の分類…… 63</p> <p>図36 刻目の分類…… 63</p> <p>図37 縄文晩期の土器(1)…… 64</p> <p>図38 縄文晩期の土器(2)…… 65</p> <p>図39 縄文晩期の土器(3)…… 66</p> <p>図40 縄文晩期の土器(4)…… 67</p> <p>図41 石鏃, 石錐, ピエス・エスキエ, 細部調整のある剝片, 石製垂飾具…… 73</p> <p>図42 磨製石斧, 敲石, 打製石斧, 石棒 74</p> <p>図43 切目石錘, 磨石…… 75</p> <p>図44 石皿, 凹石…… 76</p>
---	---

北白川追分町遺跡の堆積物	
図45 堆積物のスケッチおよび サンプル採集地点の位置…79	
図46 発掘断面にみられる 堆積状況のスケッチ(a)…80	
図47 発掘断面にみられる 堆積状況のスケッチ(b)…80	
図48 発掘断面にみられる 堆積状況のスケッチ(c)…81	
図49 発掘断面にみられる 堆積状況のスケッチ(d)…81	
図50 発掘断面にみられる 堆積状況のスケッチ(e)…81	
図51 発掘断面にみられる 堆積状況のスケッチ(f)…82	
図52 発掘断面にみられる 堆積状況のスケッチ(g)…82	
図53 発掘断面にみられる 堆積状況のスケッチ(h)…82	
図54 礫種組成の比較……………83	
図55 礫径のヒストグラム……………84	
図56 比叡山付近地質図……………85	
図57 正規確率紙上のプロット(1)…88	
図58 正規確率紙上のプロット(2)…88	
図59 正規確率紙上のプロット(3)…88	
図60 正規確率紙上のプロット(4)…88	
図61 正規確率紙上のプロット(5)…89	
図62 正規確率紙上のプロット(6)…89	
図63 正規確率紙上のプロット(7)…89	
図64 正規確率紙上のプロット(8)…89	
図65 正規確率紙上のプロット(9)…90	
図66 正規確率紙上のプロット(10)…90	
図67 正規確率紙上のプロット(11)…90	
図68 砂層の平均粒径と 分級度の相関……………92	
北白川追分町遺跡の花粉分析	
図69 花粉試料の採取地点……………95	
図70 P ₀ 地点採取試料の 花粉分析結果……………97	
図71 P ₁ 地点採取試料の 花粉分析結果……………98	
図72 P ₂ 地点採取試料の 花粉分析結果(1)…99	
図73 P ₂ 地点採取試料の 花粉分析結果(2)…100	
図74 P ₂ 地点採取試料の 花粉分析結果(3)…101	
図75 P ₃ 地点採取試料の 花粉分析結果(1)…102	
図76 P ₃ 地点採取試料の 花粉分析結果(2)…103	
図77 P ₃ 地点採取試料の 花粉分析結果(3)…104	
図78 P ₄ 地点採取試料の 花粉分析結果……………105	
図79 深泥池の植生(1)…108	
図80 深泥池の植生(2)…109	
北白川追分町遺跡出土の種実類	
図81 種実類の採取地点……………113	
図82 イネの穀殻……………119	
図83 トチノキの株周辺の 種実の分布……………129	
図84 泥炭質層4出土種実の 分布と群落の復原…130	
図85 泥炭質層3中出土種実の 分布と群落の復原…131	

図86	泥炭質層2下出土種実の 分布と群落の復原…	132	図98	縄文中期末深鉢 B類土器の変遷……………	166
図87	泥炭質層2上出土種実の 分布と群落の復原…	133	図99	縄文中期末深鉢 C類土器の変遷……………	167
図88	鳥獣の食用, 風, 水流によって 分散される種実の分布…	134	図100	縄文中期末浅鉢の変遷……………	168
図89	大型植物遺体の 出土状況……………	136・137	図101	縄文中期末の器種の組成……………	169
	北白川追分町遺跡出土の木材の樹種		図102	北白川追分町遺跡 B F 33区 S B 1 出土土器…	171
図90	泥炭質層2上における 木材の出土状況…	142	図103	北白川追分町遺跡 B F 33区 S B 2 出土土器…	172
図91	泥炭質層2下における 木材の出土状況…	142	図104	北白川追分町遺跡 昭和31年採集土器……………	173
図92	泥炭質層3中における 木材の出土状況…	142	図105	北白川追分町遺跡 B E 32・33区出土土器(1)…	174
図93	泥炭質層4における 木材の出土状況…	142	図106	北白川追分町遺跡 B E 32・33区出土土器(2)…	175
図94	青灰色シルト1における 木材の出土状況…	143	図107	北白川追分町遺跡 B E 32・33区出土土器(3)…	176
	北白川追分町遺跡出土石鏃の材質同定		図108	北白川C式土器 変遷模式図…	180・181
図95	石鏃の自然残留磁化強度 による分類…	157	図109	凸帯の分類……………	182
	北白川追分町遺跡出土木材の ¹⁴ C年代測定		図110	刻目の分類……………	182
図96	¹⁴ C年代測定試料の採取地点…	160	図111	刻目と凸帯の型式 による変遷……………	186
	北白川追分町遺跡出土の縄文土器			北白川追分町遺跡の堆積環境の復原	
図97	縄文中期末深鉢 A類土器の変遷……………	164・165	図112	白川扇状地の lobes ……………	191

表 目 次

<p>表1 比叡山西南麓縄文遺跡の消長… 8</p> <p>表2 試掘調査の花粉分析表…15</p> <p>表3 試掘調査出土の種実種…23</p> <p>表4 試掘調査出土の木質物(1)…26</p> <p>表5 試掘調査出土の木質物(2)…27</p> <p>表6 土器の出土地区と層位…68~71</p> <p>表7 細部調整のある縁辺 ごとの細部調整の属性…72</p> <p>表8 切目石錘の属性…72</p> <p>表9 凹石・磨石・敲石の点数…77</p> <p>表10 石器の出土地区と層位…78</p> <p>表11 褐色礫層の礫種組成…83</p> <p>表12 砂分析試料の採取地点と層位…86</p> <p>表13 粒度分析結果…87</p> <p>表14 種実の出土地区と 層位(1)…114・115</p> <p>表15 種実の出土地区と 層位(2)…116・117</p> <p>表16 植物遺体の採取地区と層位… 118</p> <p>表17 木材の出土地区と層位… 140</p> <p>表18 出土木材の樹種と件数… 140</p>	<p>表19 昆虫遺体の出土層位… 146</p> <p>表20 <i>Dorcus</i> グループの クワガタムシ♀の識別点… 147</p> <p>表21 石鏃の自然残留磁化強度… 156</p> <p>表22 縄文中期末の器種変遷と遺 跡・遺構出土土器群の変遷… 178</p> <p>表23 中期末縄文土器の 器種別個体数… 178</p> <p>表24 中期末縄文土器の器種別 縄文各種擦別個体数… 178</p> <p>表25 泥炭質層2上 出土の凸帯文土器… 183</p> <p>表26 白色砂4出土の凸帯文土器… 183</p> <p>表27 泥炭質層1 出土の凸帯文土器… 183</p> <p>表28 斜面黒褐色土・白色砂1 出土の凸帯文土器… 183</p> <p>表29 大阪府船橋遺跡 出土の凸帯文土器… 184</p> <p>表30 大阪府長原遺跡 出土の凸帯文土器… 184</p>
--	--

昭和60年3月26日印刷

昭和60年3月30日発行

京都大学埋蔵文化財調査報告 Ⅲ

——北白川追分町縄文遺跡の調査——

編 集 京都大学埋蔵文化財研究センター
行 本 京都市左京区吉田本町

本文印刷 山代印刷株式会社
製 本 京都市上京区寺之内通小川西入

図版印刷 有限会社 真 陽 社
京都市下京区油小路仏光寺上ル

正 誤 表

	誤	正
83頁 図54	砂 層	砂 岩
27	b 4 I 区	c 4 I 区
図版25 42・43	ヒゴグサ節	ヒゴクサ節
図版28 71a・b	第14層	第19層下
74	第14層	第19層下
図版29 87	第21層	第23層
図版33 157	d 5 III 区	d 5 II 区
図版36 23	カエデ属	イズセンリョウ?
26	カエデ属	イズセンリョウ?
図版38 36~38	(36)	(35)
41	(46)	(45)
42	(41)	(45)
43	(46)	(45)
図版39 50	(38)	(49)
51	(38)	(58)
図版40 54~56	(180)	(80)
図版43 17	W 3	W13